

磯っ子レポート

No.16

今回は、7月24日(日)に旧野村研修所跡地で行われためぎせセミ博士!!、30日(土)のなぎさの祭典、30日・31日の中津川市との児童交流についてレポートします。

めぎせセミ博士!!

僕は去年の夏にも旧野村研修所跡地を見学しましたが、バッタやイナゴがたくさんいて虫の楽園だなあと感じていました。

今回はセミについて詳しくわかるのだと思い、ワクワクして参加しました。

秦野のビジターセンターから講師の人が来て、セミだけでなく、スズメ蜂の巣を見つけたり、殿様バッタのオスメスの見分け方など、色々な昆虫について教えてくれました。

少し訪れたのが早かったみたいで、セミはたくさんはいなかったけれど、抜け殻をみんなを集めて、最後に大ききや体のデコボコを参考に、セミの種類分けをしました。見つけた中では、ヒゲラシが一番多かったけど、珍しい



▲抜け殻からセミの種類を判別する齋藤君

クマゼミも1匹いました。夏休みが終わる8月末には、きつともっと多くの抜け殻が見つかると思うので、もう一度行って、調べたいと思いました。

(齋藤啓太)

なぎさの祭典

僕は港の横で行われたなぎさの祭典を見に行きました。

今回はペドロ&カプリシャスというグループがたくさん歌を歌いました。

僕はずーっとお母さんと一緒に聞いていたけれど、知っている曲はひとつもなかったです。でも、横で一緒に歌っ

ているお母さんを見ていたら、来て良かったなあと思いました。



▲今年の花火

歌の後には花火が上がりました。花火はやっぱり間近で見ると一番です!!音と一緒に体に伝わる振動が良く、去年よりも数がたくさん増えたように思いました。また来年も、なぎさの祭典を体感したいです。

(山口健太)

中津川市(旧山口村)との児童交流

2日間に渡って行われた中津川市の小学生との交流に、私は参加してきました。

大磯町からは11人、中津川市からは12人の小学生が参加し、歓迎式で自己紹介をした後、島崎藤村邸に行きました。

島崎藤村が生まれた中津川市と亡くなった大磯町とが姉妹都市を結び、私達が一緒に藤村さんの家を訪れ、仲良くなることは、とっても素晴らしいことだと思いました。



▲歓迎式で自己紹介する齋藤さん

海のない場所から来た中津川市の小学生は照ヶ崎海岸では少しびっくりしながら海水に足を入れていました。なぎさの祭典では花火が打ち上がるのがとても待ち遠しく、特に連続花火が印象に残りました。

翌日は大磯ロングビーチで、中津川市のみならず一緒に遊びました。

秋に中津川市を訪れるのが今からとても待ち遠しいです。(齋藤亜里沙)

このコーナーを一緒に手伝ってくれることも記者を募集しています。

◎問い合わせ

企画室 ☎内線207

中津川市との児童交流を開催

7月30日、31日に文学姉妹都市現岐阜県中津川市(旧長野県山口村)から小学生12名を含む25名が来町されました。

合併後初めての交流となり、児童交流では、磯遊びを楽しみました。波の様子、海風の違い、磯の生物、全てに感動していました。その後、「なぎさの祭典」のコンサートや花火を楽しみ、両市町の交流を一層深めました。お別れ会では、中津川市児童からお礼の言葉を述べる場面もあり、和やかな一時を過ごすことができました。



◎問い合わせ

☎(61)3300

大磯町観光協会